



第3回
京都大学原子炉実験所
原子力安全基盤科学研究シンポジウム

東京電力 福島第一原子力発電所事故後の 地震・津波と原子力リスク

京都大学原子炉実験所
原子力安全基盤科学研究プロジェクト

Second Announcement



Invitation to the Symposium

平成23年東北地方太平洋沖地震 及び 福島第一原子力発電所の事故によって被災された皆様方に謹んでお見舞い申し上げますとともに被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

京都大学研究炉の特徴を活かして、原子力利用を支える安全基盤科学研究と教育を包括的に進めるための研究教育拠点を形成し、原子炉利用に対する社会的な理解の獲得に資する事業「原子力安全基盤科学研究プロジェクト」を、平成24年から4年間に亘り実施しております。このプロジェクトでは、原子力安全基盤科学研究として、原発事故関連データの検証と集約や、統合原子力安全科学研究に取り組むとともに、人材育成の観点から包括的原子力安全基盤教育に取り組んでおります。

このプロジェクトの一環として、毎年1回テーマを決め、国際シンポジウムを開催することとしており、平成24年には、環境モニタリングと線量評価に関する第1回目のシンポジウムを開催いたしました。第2回目は平成25年に「福島原子力発電所事故後の核燃料バックエンド問題と核変換技術の役割」をテーマとしてシンポジウムを開催いたしました。今年度は第3回目として「福島原子力発電所事故後の地震・津波と原子力リスク」をテーマとしたシンポジウムを開催致します。

京都大学原子炉実験所 所長
組織委員会委員長
森山 裕文



Outline of the Symposium

Purpose

東京電力・福島第一原子力発電所における事故以降、原子力施設の大規模自然災害に対する安全評価がより厳格になりました。

特に重要施設は活断層等の露頭がない地盤に設置すること、津波に対してはドライサイトが要求されるなど、絶対安全を目指した決定論的な設計体系の基で安全規制が行われています。

地震・津波などの自然外力には大きな不確実性が存在するため、設計基準を超える地震動や津波に対応するリスク概念が不可欠であるとともに、地震リスクに基づく国民による社会的意思決定が重要と考えます。

このシンポジウムでは、活断層や地震動、施設構造や社会とリスク等に取り組んでいる国内外の有識者による基調講演及び一般講演や関連する研究の一般発表をポスターセッションとして開催いたします。



Call for Papers

Program and Publication

プログラムは口頭発表とポスターセッションです。基調講演と口頭発表は招待者のみとなります。下記のテーマでポスターを募集いたします。応募いただいたアブストラクトより厳選して、2015年の秋にSpringer出版から発行される論文集に推薦させていただきます。出版を希望される方は、アブストラクト申込み用紙に執筆希望欄がありますので、チェックを入れてご提出ください。

アブストラクト：英語
ポスター：英語
Springer出版論文：英語

List of Topics

1. 外的事象を含むPRA (確率論的リスク評価)
2. 原子力施設や設備のフラジリティ
3. 活断層や震源のモデル化
4. 地震動
5. リスクと社会

Registration and Submission

論文投稿及び、参加申込みは下記のページからお願いします。

http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/anzen_kiban/sympo/sympo2014



日時:

平成26年 10月30日 9:30 -18:00 (懇親会 18:15-19:40)

会場:

京都大学芝蘭会館(京都市左京区吉田近衛町:京都大学医学部構内)

参加費:

論文投稿及び、参加費 無料
レセプション参加費用 ¥6.000円

使用言語:

日本語 / 英語 (同時通訳有)

各締切日:

平成26年 6月中旬 : アブストラクト、参加申し込み受付開始

平成26年 8月29日: アブストラクト申し込み締切

平成26年10月23日: 事前参加申し込み締切

平成26年11月上旬: Springer出版にて論文投稿のご案内

平成26年12月下旬: 論文投稿締切

お問い合わせ先:

京都大学原子炉実験所

原子力安全基盤科学研究プロジェクト

住所: 大阪府泉南郡熊取町朝代西2丁目

電話: 072-451-2432

Fax : 072-451-2639

E-mail: anzenkiban@rri.kyoto-u.ac.jp



主催

京都大学原子炉実験所

後援

日本原子力学会

組織員会

委員長: 森山 裕丈 (京都大学原子炉実験所)

蛭沢 勝三 (電力中央研究所, 東京都市大学 客員教授)

山口 彰 (大阪大学大学院)

釜江 克宏 (京都大学原子炉実験所)

高橋 千太郎 (京都大学原子炉実験所)

中島 健 (京都大学原子炉実験所)

山名 元 (京都大学原子炉実験所)



国際アドバイザー委員会

山名 元 （京都大学原子炉実験所）

プログラム委員会

委員長: 釜江 克宏 （京都大学原子炉実験所）

岩田 知孝 （京都大学防災研究所）
蛭沢 勝三 （電力中央研究所, 東京都市大学 客員教授）
大堀 道広 （福井大学 附属国際原子力工学研究所）
隈元 崇 （岡山大学大学院）
後藤 秀昭 （広島大学大学院）
高田 毅士 （東京大学大学院）
谷口 武俊 （東京大学 政策ビジョン研究センター）
藤田 聡 （東京電機大学）
松多 信尚 （岡山大学大学院）
宮野 廣 （法政大学大学院）
村松 健 （東京都市大学）

事務局

委員長: 上林 宏敏 （京都大学原子炉実験所）

川辺 秀憲 （京都大学原子炉実験所）
仲谷 麻希 （京都大学原子炉実験所）



Program (subject to minor-change)

- 09:30-09:45 開会挨拶
- 09:45-10:30 原子力リスク管理と社会 近藤 駿介 (東京大学 名誉教授)
- 10:30-11:00 震源断層モデル構築のための活断層データの不確実性の分類と評価
隈元 崇 (岡山大学 大学院 准教授)
- 11:00-11:30 新規制基準で求められる基準地震動 S_s
- 地震動評価における不確かさとその評価 -
釜江 克宏 (京都大学原子炉実験所 教授)
- 11:30-12:00 原子力発電設備の外的事象に対する安全確保
- システム安全による設計と維持 - 宮野 廣 (法政大学大学院 客員教授)
- 12:00-14:00 昼食、ポスターセッション
- 14:00-14:45 リスクコミュニケーションの為のPRA構造
Sujit Samaddar (IAEA国際耐震安全センター長)
- 14:45-15:15 地震、津波等外的事象に対する原子力リスクの現状
蛭沢 勝三 (電力中央研究所上級特別契約研究員・東京都市大学 客員教授)
- 15:15-15:45 外的事象に対する原子力安全の技術ガバナンス
亀田 弘行 (京都大学名誉教授・電力中央研究所名誉研究アドバイザー)
- 15:45-16:15 ポスターセッション (コーヒーブレイク)
- 16:15-16:45 原子力リスクガバナンスの欠陥分析からの教訓
谷口 武俊 (東京大学政策ビジョン研究センター 教授)
- 16:45-17:45 質疑 及び 総括
- 17:45-18:00 閉会挨拶
- 18:15-19:40 懇親会

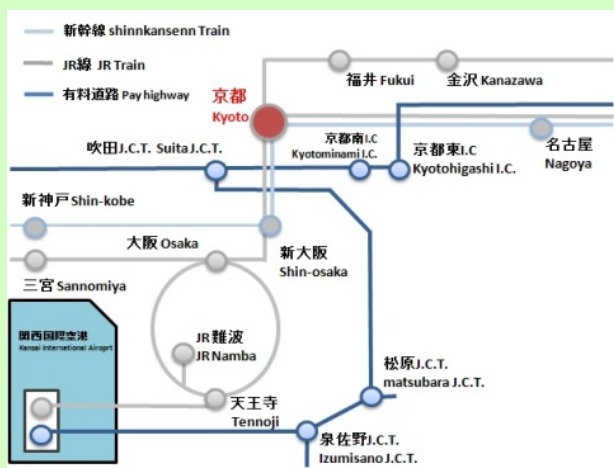
Kyoto University Research Reactor Institute



Access and Map to Shiran Hall

住所：京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内

関西国際空港から、京都駅まで



JR関空特急「はるか」で約75分

高速バスで85分

